

# JASCA概要

## 日ASEANスマートシティ・ネットワーク官民協議会（和文） Japan Association for Smart Cities in ASEAN (JASCA)（英文）



- ✓ 官民関係者間の情報共有を強化し、分野横断的対応を効果的に行うため、令和元年10月2日設置。
- ✓ 民間に対する省庁の対応窓口の一元化、相手都市に関する調査・情報提供や日本の製品サービスとのマッチング支援等に取り組む。

### 組織構成／会員（令和2年11月時点）



- 情報交換
- 現地会合
- 官民  
マッチング
- プロジェクト  
チーム組成
- 事業支援



JASCA

#### 関係府省（7）



#### 自治体（9）



#### 公的機関（16）



#### 民間企業（242）

製造業、IT、デベロッパー、建設業、エンジニアリング業、サービス業、コンサルタント、銀行 等

#### 連携組織（5）

スマートシティ官民連携プラットフォーム、日本防災プラットフォーム、防災技術の海外展開に向けた官民連絡会、スマートシティ・インスティテュート、世界省エネルギー等ビジネス推進協議会

# 設立背景

## 日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合(令和元年10月8, 9日)

### 成果文書

- ✓ 6. The Meeting acknowledged that the **Japan Association for Smart Cities in ASEAN (JASCA)** was established as a framework to facilitate cooperation between ASEAN and Japan, and is composed of potential Japanese Partners, both public and private, from various fields that have interests towards ASEAN.



シンポジウム



開会セレモニー



分科会



官民マッチング



JASCA設立発表



署名式

# 政府における位置づけ

## 第22回 日ASEAN首脳会議(令和元年11月4日)

### 首脳会議共同声明

DO HEREBY DECLARE AS FOLLOWS:

- ✓ 9. Promote digital connectivity, smart city development, and innovation to be widely applied in the society through platforms such as the ASEAN Smart Cities Network (ASCN), **the Japan Association for Smart Cities in ASEAN (JASCA)** and ...



# JASCA活動

## 活動範囲及び案件対象分野

- ✓ JASCA会員のビジネスマッチング、会員の活動支援
- ✓ PPP案件、円借款・無償案件、ローカル資金案件の初期段階の検討、FS支援等組成支援
- ✓ 最先端技術の活用以外も基礎インフラ整備等幅広い分野を対象

水



中央監視制御



MaaS / 観光



安全・安心



都市開発



自動運転



廃棄物処理



防災



渋滞対策



# ASCN26都市の課題・関心事項

## アクションプラン/プレゼンテーション/分科会発言よりキーワードを抜粋

国・都市		課題	国・都市		課題
カンボジア	バタンバン	道路改善、空間デザイン向上による露天商整理、下水道インフラ整備、河川改修、低コスト住宅	フィリピン	セブ	水供給管理、統合輸送システム、BRT、中央監視センタ、高速道路、LRT
	プノンペン	歩道・広場整備、都市部への道路、公共交通路線網整備、交通管制センター、BRT/LRT、キャッシュレス		ダバオ	スマートモビリティ、交通管制、中央指令センタ、安全・治安対策
	シェムリアップ	排水処理、廃棄物処理、統合データシステム、安全対策（CCTV）、ツーリストセンター		マニラ	地図情報GIS構築、オンライン決済、治安モニタリング、遠隔医療、遠隔教育
インドネシア	マカッサル	渋滞緩和（モノレール、駐車場整備、交通信号システム、交差点改良、人流データ活用）、e-Government、島におけるソーラー、上下水処理場（特に上水）、電子カルテ、遠隔医療（救急車が当てにならない）、廃棄物処理	シンガポール		公共交通利用促進、電子政府、電身分子証明書、電子決済、サイバーセキュリティ
	バニユワンギ	観光地交通アクセス、eコマース、エコツーリズム、職業訓練、人材開発	タイ	バンコク	歩行者専用道路、交通ハブ（バンスー）、TOD、中央ビジネス地区開発
	ジャカルタ	IoT活用による水位管理、洪水情報発信、公共交通システム統合、交通量把握・情報発信、情報ポータルJaki、交通決済システム統合、救急車モニタリング		チョンブリ	スマートグリッド、再生可能エネ、送配電管理、廃棄物発電、CO2削減、サイバーセキュリティ
マレーシア	ジョホールバル	水質改善、水源貯留、排水管理、中水利用、洪水対策、河川再生、スマートモビリティ、CASBEE、中央データセンタ、スマートガバナンス	ラオス	ルアンプラバン	コンクリート道路、分散型排水処理、雨水貯留、洪水対策監視、廃棄物管理、住宅供給土地利用計画、CCTV安全サービス、エコツーリズム、遺産湿地回復、交通システム
	クアラルンプール	歩行者自動車専用道路、固形廃棄物処理、センサー活用ゴミ収集、交通管制（ITS、ATS）、地理空間アプリ、オンライン申請		ビエンチャン	排水管理システム、廃棄物管理、交通計画、交通管理、非自動車輸送、駐車場管理、EVバス、信号改良、火災水害対策
	コタキナバル	スマート水管理、給水メータ、下水整備、廃棄物処理、公共交通システム、観光客誘致	ベトナム	ダナン	スマートウォータ、IoT水位水質管理、洪水対策、スマートバス、都市データプラットフォーム、無料WiFi、CCTV活用システム統合、観光開発
	クチン	下水道整備、洪水対策遠隔監視、IoT水位センサー、交通信号、スマートモビリティ、水素EVバス、指令センタ		ハノイ	信号集中監視、高度道路システム、都市管理システム、スマート観光基盤
ミャンマー	ネーピードー	スマート街路照明、スマートメータ、eバスシステム、高速列車、アフォーダブル住宅、大学・輸送ハブ誘致	ホーチミン	統合オペレーションセンタ、電子政府、地図情報GIS、CCTV統合監視センタ	
	マンダレー	街路灯制御、水供給管理、排水管理、水質モニタリング、固形廃棄物処理、交通渋滞緩和、駐車場、CCTV分	ブルラ	バンダル・スリ・	水質浄化、クリーンリバー、河川廃棄物処理・管理、固形廃棄物回収、高品質住宅、ビッグデータ、モニタリン

# プロジェクトチーム組成

都市ごと(課題分野ごと)にプロジェクトチームを組成し具体的な活動につなげる。

## ■運用方法(事務局の動き) ~プロジェクトチーム組成まで

### ①各省事務局窓口の設置(規約第2条)

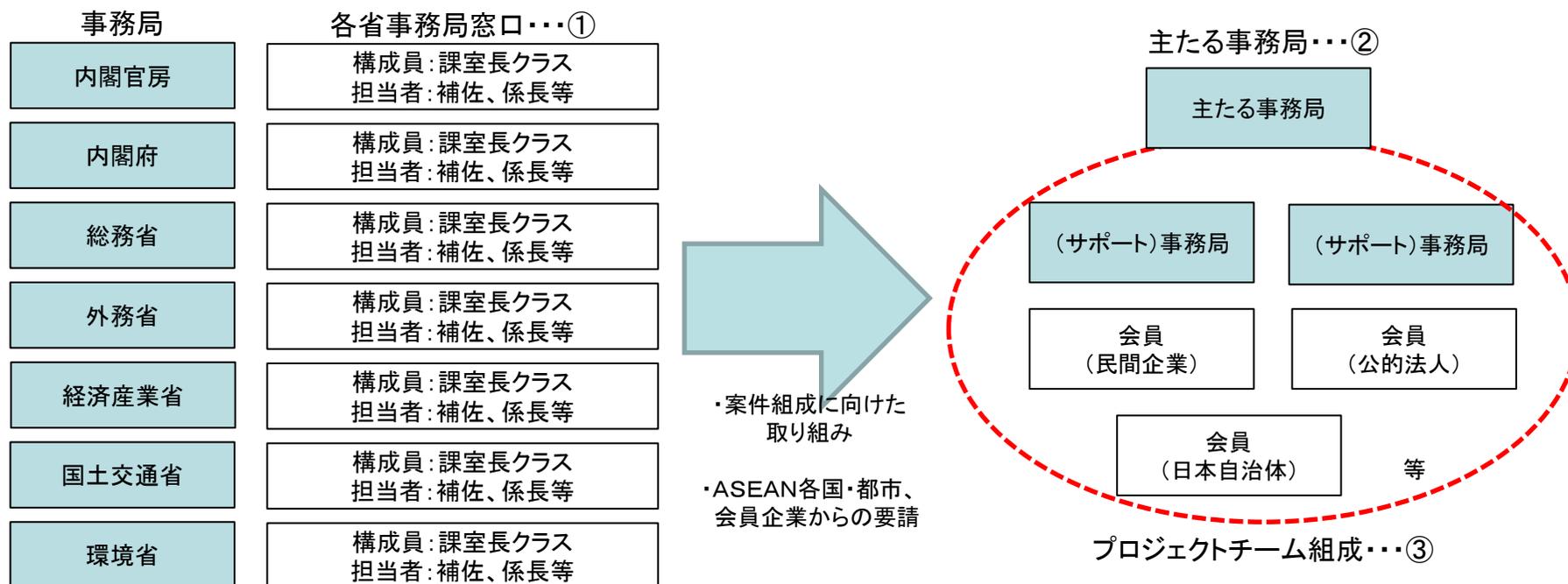
JASCAは内閣官房(補室経協インフラ担当)、内閣府(科技及び防災)、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省が事務局となって活動する。各府省より事務局窓口を設置する。

### ②(案件ごとに)主たる事務局設置(規約第6条)

- ・各省事務局窓口は自発的に主たる事務局となり案件組成のためのプロジェクトチームの組成が可能。
- ・ASEANからの引合い案件(問合せ・要望)または会員企業からの要請については、窓口間の打合せを行い、案件内容により対応方針を決定し主たる事務局を定める。
- ・その他含め必要時に各省事務局窓口は関連する他省事務局窓口を招集し、協議の場を設けることができる。

### ③プロジェクトチーム組成(規約第6条2)

- ・主たる事務局は有志会員を募集し、プロジェクトチームを形成し、具体的な活動を推進する。
- ・プロジェクトチームの活動内容、メンバー構成、活動スケジュール、メンバー内取り決め等、チーム活動に必要な検討、調整を主たる事務局が行い、他の事務局は必要な支援を行う。



プロジェクトチーム組成までのフロー(例)

# JASCA活動(各フェーズ毎)

## JASCA会員(プロジェクトチーム)によるハンズオン支援

### プロジェクトマイルストーン(例)

### JASCA支援メニュー(例)

	プロジェクトマイルストーン(例)	JASCA支援メニュー(例)
<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 10px; text-align: center;"> <b>コンセプト ／計画</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現状認識</li> <li>✓ 目標設定</li> <li>✓ 優先課題特定</li> <li>✓ 予算配分／資金スキーム</li> <li>✓ マスタープラン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ (横浜会合後の)フォローアップ会合</li> <li>✓ 官民マッチングイベント</li> <li>✓ 日本知見の共有</li> <li>✓ 技術者派遣</li> </ul>
<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 10px; text-align: center;"> <b>組成</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ビジネスモデル策定</li> <li>✓ 設計／見積</li> <li>✓ 法整備</li> <li>✓ 環境アセスメント</li> <li>✓ コンセッション契約(官民)</li> <li>✓ ファイナンスクローズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 民間企業誘致</li> <li>✓ FS (経済／技術)</li> <li>✓ 日本知見の共有</li> <li>✓ 技術者派遣</li> <li>✓ ファイナンススキーム紹介</li> <li>✓ ステークホルダ間調整支援 (G to G、JASCA内等)</li> </ul>
<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 10px; text-align: center;"> <b>実行</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 用地取得</li> <li>✓ 調達</li> <li>✓ 建設</li> <li>✓ O&amp;M</li> <li>✓ サービス提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本知見の共有</li> <li>✓ 技術者派遣</li> <li>✓ ステークホルダ間調整支援 (G to G、JASCA内等)</li> </ul>

活動はステークホルダの合意に基づく